



平成 22 年度 文化庁日本語教育委託事業
聖徳大学 言語文化研究所 主催

地域社会への適応・参加を重視した

日本語指導者養成講座



文法中心の構造シラバス文型に終始せず、外国人の生活の視点に立った実用的日本語会話を効率的に指導する方法を研修します。

講義ばかりでなく、ディスカッションやワークショップなどを通じて、より生き活きとした授業の出来る日本語教師養成を目指します。

■講師 北村弘明(聖徳大学教授) 山岡洋(桜美林大学教授) 立川和美(流通経済大学准教授)ほか

■期間 10月2日～12月18日 全10回

■時間 13時30分～16時30分 (詳細は、募集要項のスケジュール表をご覧ください)

■会場 聖徳大学 10号館(千葉県松戸市松戸1169) 松戸駅東口より徒歩1分

■研修内容

地域日本語教育の目的とサバイバル日本語/CEFRの概要と“Can-Do”をめぐって/外国人の生活実態と生活行動言語の研究/「会話能力」と「文章読解力」とのバランス/言語習得理論および語用論から見た実践的語学教育/「文法・文型」の指導法とコミュニカティブ・アプローチ/ JSL児童・生徒の生活言語指導の実態と問題点 ほか

※全10回のうち、8回以上の出席があった方には、本研修講座の参加証をお渡しします。

■募集人員 30名(応募が多数の場合は、書類選考をおこなうこともあります)

■応募資格 学校教員、インストラクターなど、指導的職業を経験した方を歓迎します。また、日本語教育に関心があり、研鑽の熱意のある方なら特に資格を問いません。

■参加費 無料(初回に配付物印刷費として3,000円をお支払いください)

■応募方法 別紙「募集要項」の要領にて、申込用紙に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

■問い合わせ先 聖徳大学 知財戦略課 TEL 047(365)1111(大代)